ジャパンカップスピードスケート開幕戦

神谷 白樺学園高出 女子500 社会人初V

唯一39秒台そろえる

男子は西村（パソナー白樺学園高出）2位

【女子500㍍】2回ともただ1人39秒台をマークし、社会人初優勝を遂げた神谷衣理那

スピードスケートの2010～11ジャパンカップ競技会第1戦（日本スケート連盟主催）が13日、明治北海道十勝オーバルで開幕した。14日までの2日間、9種目で熱戦を繰り広げる。同競技会は今年度新設され、来年2月の最終戦まで全5戦のシリーズ。初日午前は男女500㍍を行い、女子は神谷衣理那（日本電産サンキョー—白樺学園高出）が1、2回目ともにただ1人39秒台のトップタイムを出し、合計79秒75で社会人初優勝を飾った。男子は上條有司（日本電産サンキョー）が2回合計72秒06で優勝。西村誉士（パソナー専大、白樺学園高出）は準優勝だった。午後は男女1500㍍を行った。（高橋宏幸、折原徹也）

課題残す　神谷

○…W杯長春大会と帯広大会の1000㍍で代表権を獲得している神谷衣理那が2本とも唯一39秒台をマークし、合計タイムで2位に1秒近く差を付けて快勝した。

今春、長島圭一郎（日大、池田高出）らが所属する名門・日本電産サンキョーに入部。練習量は高校時代から格段に増え、筋力がアップしラップタイムも向上。自信を深めてシーズンに入った。ところが、開幕戦の全日本距離別の500㍍は1回目に2度フライングして失格となり、1本も滑れないまま終了。「自分でも何秒出るか楽しみだった。500㍍でW杯に行くのが目標だったのにまさかの展開になってしまった」と神谷。得意の500㍍で勝負できなかった悔しさが残る中、「国内に残ったからには大会で全部優勝して少しでも上に近づきたい」と気持ちを切り替えて連戦に備えた。

今日の2本目の39秒81は明治オーバルでの自己ベストながら、「39秒5は切りたかった。練習の滑りがまだ完ぺきにできていない。課題は残っている」ときっぱり。世界のトップで戦う先輩たちの姿に刺激を受けながら、「入ったばかりだけど、同じ位置にいくのが目標。もっと頑張らないと」と精進を誓っていた。

（7位以下関係分）【女子】◇500㍍（2回合計）＝①神谷衣理那（日本電産サンキョー—白樺学園高出）79秒75（①39秒94、①39秒81）②住吉都（堀技研工業）80秒64（②40秒42、③40秒22）③小坂千秋（トランシス）80秒87（⑤40秒67、②40秒20）④黒岩美生（富士急行）80秒91（③40秒58、④40秒33）⑤石田誌保（十六銀行—山梨学院大、池田高出）80秒98（④40秒59、⑤40秒39）⑥佐藤絢香（岸本医科学研究所）81秒34（⑥40秒70、⑥40秒64）⑦小原悠里（高崎健康福祉大—白樺学園高出）81秒78（⑦40秒94、⑦40秒84）⑧押切美沙紀（駒大苫小牧高—中札内中出）81秒97（⑨41秒09、⑧40秒88）⑨永田希絵（帯南商高）82秒08（⑧41秒03、⑩41秒05）⑪郷亜里砂（山口SC—山梨学院大、白樺学園高出）82秒47（⑩41秒22、⑪41秒25）⑬辻本有沙（白樺学園高）83秒48（⑬41秒88、⑫41秒60）⑮桜井萌美（同）84秒10（⑮42秒15、⑯41秒95）⑲高畑優貴（同）84秒64（⑱42秒32、⑲42秒32）㉑米田光希（同）85秒88（㉑42秒84、㉑43秒04）

山根（帯五中）男子B 初優勝

十勝ジュニアから7人入賞

北海道トランポリン選手権

道選手権で活躍した十勝ジュニア体操クラブ。大宮知季、上村大地、山根圭一、宇田佳純（前列左から）。稗田道也コーチ、山根里奈、岡田楓佳（後列左から）

トランポリンの第32回北海道選手権大会（北海道トランポリン協会主催）がこのほど、江別市の道立野幌総合運動公園体育館で行われ、男子Bクラスの山根圭一（十勝ジュニア体操クラブ）＝帯五中2年＝が初優勝したのをはじめ、女子Aクラスの宇田佳純（同）＝白樺学園高2年＝と、同Bクラスの岡田楓佳（同）＝帯三中1年＝がそれぞれ準優勝するなど同クラブから7人が入賞し、実力の高さを示した。

昨年からけがに悩まされ続けた山根が、決勝で爆発した。「演技点でアピールしたい」と2回宙返りを封印。10本のジャンプのうち、9本取り入れた1回宙返り、1本の1回4分の3宙返りをひざやつま先、技の切れともに最高にまとめ、29・4点をマーク。自身の過去最高点を記録して優勝を決めた。「万全の体調で初めて納得のいく演技ができた」と満面の笑み。

昨年7月、全国大会2日前の練習中にトランポリンから転落して左手首を骨折。ギプスを着けて強行出場したが41位と不本意な結果に終わった。昨年の道選手権でも腰を痛めており、決勝では激痛から演技を一時中断するなど4位に終わった。「怖くて高くジャンプできなくなった」と、体のバランスが崩れて演技全体のリズムも壊れてしまうスランプに陥ったが、地道に努力を重ねて克服、今大会の優勝を勝ち取った。「基礎練習はもう大丈夫。これからはAクラスで戦える技術を磨きたい」と意欲を新たにしている。

宇田は、前年3位。2回宙返りで、着地寸前に足が曲がる癖があったが、ビデオチェックなどを頻繁に行って大会に臨んだ。「今まで教えてもらったことをすべて発揮したい」と10本のジャンプのうち、2回宙返りを昨年より2本増やして演技。「3本目で崩れたが、次の技で立て直せた。結果には満足していない。来年は優勝したい」と力強く話す。

岡田は同クラス初出場で準優勝の快挙。「こんな良い結果が出ると思ってもいなかった。来年は優勝したい」と意欲的だ。個人の予選演技点合計で競われる団体の部でも同クラブは女子3位、男子4位と健闘。稗田道也コーチは「さらに上のレベルを目指してみんなで頑張りたい」と話している。（小寺泰介）

（2位以下関係分）【女子】▽Aクラス＝①西島結梨恵（当麻トランポリンS少年団）83・4点（規定22・8点、自由30・2点、決勝30・4点）②宇田佳純（十勝ジュニア体操クラブ）81・1点（22・7点、29・2点、29・2点）▽Bクラス＝①小野なつみ（釧路トランポリンキッズS少年団）55・0点（自由①27・2点、自由②27・8点）②岡田楓佳（十勝ジュニア体操クラブ）54・4点（26・8点、27・6点）③山根里奈（同）54・1点（26・8点、27・3点）▽シンクロナイズドAクラス＝①西島結梨恵・吉村春那（当麻トランポリンS少年団・サクセススポーツクラブ）82・5点③宇田佳純・山根里奈（十勝ジュニア体操クラブ）78・8点▽団体＝①サクセススポーツクラブ（薄井琴未、吉村春那、田島萌音）84・7点③十勝ジュニア体操クラブ（宇田佳純、山根里奈、岡田楓佳）82・8点

【男子】▽Aクラス＝①加藤将志（サクセススポーツクラブ）94・1点（規定23・2点、自由36・3点、決勝34・6点）⑦稗田道也（十勝ジュニア体操クラブ）80・4点（21・9点、29・6点、28・9点）▽Bクラス＝①山根圭一（十勝ジュニア体操クラブ）58・3点（自由①28・9点、自由②29・4点）④上村大地（同）56・1点（28・0点、28・1点）▽Cクラス＝①風呂谷幸汰（トランポリンクラブKitami）50・4点（自由①25・0点、自由②25・4点）④大宮知季（十勝ジュニア体操クラブ）49・4点（25・1点、24・3点）▽シンクロナイズドBクラス＝①濱田海人・上村大地（サクセススポーツクラブ・十勝ジュニア体操クラブ）80・2点▽団体＝①サクセススポーツクラブA（渋谷和弘、佐藤恒平、今野広徳）90・9点④十勝ジュニア体操クラブ（山根圭一、上村大地、稗田道也）86・5点

W杯スケート

長島は8位　男子500

高木は女子B1000で3位

【ヘーレンフェイン（オランダ）時事】スピードスケートのワールドカップ（W杯）今季開幕戦、ヘーレンフェイン大会第1日は12日、当地で行われ、男子500㍍でバンクーバー五輪銅メダルの加藤条治（日本電産サンキョー）が34秒85で制し、W杯通算8勝目を挙げた。太田明生（JR北海道—明大、池田高出）が35秒27で7位、同五輪銀メダルの長島圭一郎（日本電産サンキョー—日大、池田高出）は35秒33で8位。女子500㍍は小平奈緒（相沢病院）が38秒43で4位、辻麻希（十六銀行—白樺学園高出）が7位、W杯初出場の仁科有加那（日本電産サンキョー—帯南商高出）が13位、高木美帆（帯南商高）は39秒63の18位。

女子1000㍍は小平が6位、辻が10位。Bクラスの高木は3位、松田有幾（十六銀行—白樺学園高出）は8位だった。男子1000㍍Bクラスは羽賀亮平（日大—白樺学園高出）が2位、長島が3位。

「ひどいレース」　8位の長島

▽…長島は男子500㍍で出だしからリズムに乗れず、8位。終盤にかけての特徴的な伸びも見られなかった。35秒33というタイムもさることながら、「久々にひどいレースをした。4年ぶりくらいかな」と、嘆くしかなかった。

この日のレースの前にはBクラスで1000㍍を滑った。最後まで全力を出して3位に入ったが、「1000も頑張っているので。足がきつかった」と、影響は否めなかったようだ。

「まだまだ」を実感　高木

▽…16歳でW杯初出場の高木は女子500㍍で18位。最初の100㍍が11秒0と遅く、コーナーでも加速し切れずに39秒63で自己ベストを上回れなかった。中学3年生で出場したバンクーバー五輪で世界の舞台を経験したとはいえ、「自分はまだまだ。それをすごく実感した」と、言葉少なだった。

（12日・2位以下日本選手関係分）【男子】◇500㍍A＝①加藤条治（日本電産サンキョー）34秒85⑦太田明生（JR北海道—明大、池田高出）35秒27⑧長島圭一郎（日本電産サンキョー—日大、池田高出）35秒33⑪及川佑（大和ハウス工業—山梨学院大、池田高出）35秒45㉒羽賀亮平（日大—白樺学園高出）36秒70◇1000㍍A＝①シャニー・デービス（米国）1分8秒40◇1000㍍B＝②羽賀亮平（日大—白樺学園高出）1分10秒55③長島圭一郎（日本電産サンキョー—日大、池田高出）1分10秒71㉖加藤条治（日本電産サンキョー）1分15秒27【女子】◇500㍍A＝①ジェニー・ウォルフ（ドイツ）38秒02④小平奈緒（相澤病院）38秒43⑦辻麻希（十六銀行—白樺学園高出）38秒79⑬仁科有加那（日本電産サンキョー—帯南商高出）39秒39⑱高木美帆（帯南商高）39秒63㉓清水玲香（日体大）40秒15◇1000㍍A＝①クリスティン・ネスビット（カナダ）1分15秒84⑥小平奈緒（相澤病院）1分17秒24⑩辻麻希（十六銀行—白樺学園高出）1分17秒51◇1000㍍B＝③高木美帆（帯南商高）1分18秒84⑧松田有幾（十六銀行—白樺学園高出）1分19秒85

高校生32人を表彰

帯広バレーボール協会

男子優秀選手受賞者

女子優秀選手受賞者

帯広バレーボール協会は13日午前9時から、白樺学園高体育館で今年度の高校生優秀選手32人を表彰した。

同日開幕した第63回全日本高校選手権大会十勝地区予選会の開会式に先立って行われた。インターハイ出場を果たした女子の帯南商などから女子20人、男子は12人に表彰状が贈られた。同協会の後藤忠範理事長は「指導者や仲間、家族などへの感謝の気持ちを忘れないでほしい。バレーボールをこれからも続けてください」と言葉を贈った。選手を代表して森池航大（白樺学園）が「3年間学んだことを糧に大学でも頑張りたい」、山田亜耶（帯南商）が「最後の大会となる選手権で悔いを残さないようにしたい」とあいさつした。（古川雄介）

表彰を受けた選手は次の通り。

【男子】沖二俊輔、桝谷周呈、森池航大（以上白樺学園）、長尾佑希、祢津豊、古田健人、松元裕昭（以上帯柏葉）横山聖、金須大祐、福永雄弥（以上帯工）山崎剛嗣、足立智洋（以上帯三条）

【女子】伊関悠、多地真実子、小澤杏奈、山田亜耶、五十嵐菜津子、柳沼美理、富田奈那美、早川祥（以上帯南商）久保田温子、藤村未央、上田早紀、大友沙彩、加藤美穂、高橋奈生、齊藤由依（以上帯三条）安倍瑞記、福永有佳里、櫻井万葉（以上帯大谷）寺町あずさ、松久遥香（以上白樺学園）

NHK杯アイスホッケー

連合Dが3位

（12日・帯広の森アイスアリーナ）

＜中学生の部＞

◇3位決定戦

連合D＝芽室・清水・御影　6（3－0、2－2、1－1）3　帯二

▽得点者【連】榛澤2、太田2、打田、大下【帯】佐藤2、三津藤、嶋▽アシスト【連】大下3、関谷2、榛澤2、小萱隼【帯】石田3、佐藤、嶋▽反則【連】3【帯】2▽シュート数【連】41（11、18、12）【帯】38（13、10、15）▽審判＝笹村昭、田村、阿久津

勝毎杯アイスホッケーBプール

（12日・帯広の森アイスアリーナ）

＜3部A＞

帯広信金ファイターズ（1勝）7（2－2、2－2、3－2）6　あひるII（1敗）

▽得点者【帯】黒島3、若原2、遠藤、工藤【あ】太布2、村椿2、田澤圭、大江▽アシスト【帯】遠藤2、石井、梶、中原【あ】村椿2、田澤圭▽反則【帯】2【あ】4▽シュート数【帯】19（6、7、6）【あ】39（11、13、15）▽審判＝笹村幸、永原、高野

＜3部B＞

GG★PENGU INS（1勝）10（5－2、3－2、2－3）7　道新総合印刷（1敗）

▽得点者【G】鷲見3、立崎2、久野2、佐藤栄、村上、村田【道】高原4、今井、鈴木、葛西▽アシスト【G】村田4、村上3、類家2、鷲見、佐藤栄、佐藤琢、立崎【道】笹島2、杉山2、今井、高原、平子、鈴木▽反則【G】3【道】0▽シュート数【G】24（7、7、10）【道】32（12、14、6）▽審判＝笹村幸、平井、大内

＜4部A＞

帯広開発建設部（1勝）7（2－2、5－2、0－2）6　旭山クラブ（1敗）

▽得点者【帯】原田2、上田2、郷、若林、三井【旭】坂根3、室崎2、田中▽アシスト【帯】石郷岡3、今井、原田、陸、若林【旭】高橋、坂根、花田、村上▽反則【帯】3【旭】2▽シュート数【帯】19（5、8、6）【旭】50（17、17、16）▽審判＝佐藤俊、大山、細野

＜4部B＞

あひるI（1勝）7（2－0、3－2、2－1）3　とりしん士幌クラブ（1敗）

▽得点者【あ】吉田真和2、加藤、吉田真一、清水亮、妹尾、菊池【と】田中2、渡辺将▽アシスト【あ】奥村2、妹尾、加藤、清水亮【と】渡辺将▽反則【あ】2【と】1▽シュート数【あ】29（4、8、17）【と】23（8、8、7）▽審判＝佐藤俊、宮脇慎、平岡瑞

きょうの勝因

3部A　帯広信金ファイターズ　黒澤瞳美マネジャー（27）　今日の勝因は練習通りのあのシュート!!です。

3部B　GG★PENGUINS　DF村上孝行（48）　GK宮下君の好セーブ連発で勝利！　ところで飯尾君はどうして来ないの？　ともあれ、ジャーマネも応援よろしく哀愁デート！

4部A　帯広開発建設部　FW上田雅則（33）　今日は皆さんのおかげで、決勝点を挙げることができました。でもキーパーのナイスセーブのおかげです。ゴーリー最高!!

4部B　あひるI　清水邦吉主将（56）　キーパー細岡のガンバリで「あひるI」とは思えない内容のゲームでした。この調子で次回もナイスゲームで行きましょう。

白樺、恵庭南に逆転勝ち

高校バスケ道予選

帯三条も準々決勝へ

【小樽、余市】バスケットボールの第41回全国高校選抜優勝大会北海道予選が12日、小樽市総合体育館などで開幕した。初日は1、2回戦を行い、男子の白樺学園は2回戦で第2シードの恵庭南に75－74と逆転勝ち。帯三条も2回戦を突破し、準々決勝に駒を進めた。女子の帯南商は初戦の2回戦を快勝し、ベスト8へ進出。帯大谷は1回戦で函大柏稜に敗れた。大会は14日まで。

（関係分）

【男子】▽1回戦

白樺学園　136（25－13、35－2、35－10、41－9）34　士別翔雲

帯三条　81（22－6、21－22、12－20、26－23）71　稚内大谷

▽2回戦

白樺学園　75（22－9、17－25、17－18、19－22）74　恵庭南

帯三条　87（17－12、19－24、30－16、21－27）79　岩見沢緑陵

【女子】▽1回戦

函大柏稜　86（24－18、26－13、20－15、16－17）63　帯大谷

▽2回戦

帯南商　83（20－14、24－12、19－13、20－12）51　北見緑陵

かちまいスポーツ
記録の速報は▼kachimai.mobi
写真がほしい▼TEL 0120-25-9410

しみ抜き・手仕上げ
上田クリーニング
帯広市西3南4 ☎23-2539